

はじめに

少子高齢社会の到来や自由時間の増大等による社会環境やライフスタイルの変化に伴い、ゆとりとうるおいのある健康的な暮らしを求めてスポーツを楽しむ市民が増えています。

また、スポーツに関する興味や関心が多様化していることや様々な新しいスポーツが誕生していることもあり、市民の誰もが、年齢、体力、技術、興味や目的に応じて、気軽にスポーツに親しむことができる環境や施設整備を図ることが求められています。

豊橋市では、平成 23 年 3 月、「健康的で活力のあるスポーツのまち」を基本目標に、“いい汗”、“いい顔”、“いい仲間”を合言葉に市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツを楽しむことのできる「生涯スポーツ社会」の実現に向け、『豊橋市生涯スポーツ推進計画』を策定し、「いつでも・どこでも・誰でも」スポーツに親しむ環境づくりを進めるとともに、スポーツ振興を支える基盤として、スポーツ施設の充実に努めてきました。

国においては、スポーツ立国戦略・スポーツ基本法に基づく各種施策が展開され、その大きな成果として平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定されたこと、また、男子バスケットボールのトップリーグが平成 28 年から新たに B リーグに統一される中で、豊橋市総合体育館がホームアリーナになることなど、今後スポーツ環境の大きな変化が予測されます。

こうした背景から、豊橋市では、スポーツを通じた地域コミュニティの形成・活性化及びスポーツイベント等の開催による地域経済の活性化やまちづくりを図るために、豊橋市内において多目的屋内施設（以下、「新アリーナ」という。）の整備を検討しています。新アリーナについては、スポーツ面においても多彩な競技種目の利用対応のほか、コンベンションや展示施設としての活用が求められています。

本調査は、豊橋市における新アリーナの必要性や求められる機能等について明らかにするとともに、スポーツを取り巻く環境や市民ニーズ等を調査し、地域の立地を踏まえ、幅広い視点から整備の方向性を示すものです。